

# 防災・減災の取り組み推進

## 地域の担い手育成が前進

公明党横浜市議員団

仁田まさとし

### 「空き家」「ごみ屋敷」の対策を

伺っており、20年ぶりとなる資機材の本格的な見直しを主張しました。総務局長は、エンジンカッターなどは、エンジンカッターなど方針を明らかにしました。

市会第3回定例会が9月8日から10月21日まで開かれました。この中で設置された2014年度決算特別委員会では、連日、局別に詳細な審査が行われました。私は10月9日の総務局審査で防災対策に関連した質疑を行いました。

高齢化や人口減少などに、適切に管理されていない「空き家」、自宅に大量の廃棄物がある「ごみ屋敷」が全国的に問題となっており、16年度中の全校実施を目指す中学校屋食「横浜型配達弁当(仮称)」の準備状況を教育委員会が示しました。

私が13年度予算代表質疑で地域の防災・減災を推進するリーダーを育てること

そこで、公明党横浜市会議員団は9月4日、横浜市に対し「安心の住環境の整備に関する要望書」を提出しました。

私が13年度予算代表質疑で地域の防災・減災を推進するリーダーを育てること

### 拠点資機材を見直し

私が13年度予算代表質疑で地域の防災・減災を推進するリーダーを育てること

1995年の阪神・淡路大震災を契機に小中学校などの地域防災拠点に食料品や生活資機材、救護・救助資機材などの備蓄品が配備されました。しかし、地域の防災訓練では、「操作が難しい資機材がある」「老朽化している」などの声を

京都市など、一部の政令市はすでに「ごみ屋敷対策条例」を制定しており、横浜市も積極的に取り組むよう求めました。関係局が連携し、住人が抱える事情に寄り添いながら、条例化を含めた新たな仕組み作りを検討されています。



**仁田まさとし プロフィール**

- 水道・交通委員会
- 基地対策特別委員会

◇施政方針は「動く、創る、変える。」

ホームページ <http://www.nitta-m.jp/>

f 情報発信中

私は今後も防災対策、住環境の整備、中学校屋食の充実に取り組んでいきます。